



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東  
 コード番号 8159 URL <http://www.tachibana.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊武雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営戦略室長 (氏名) 松浦良典 (TEL) 06-6539-2718  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	37,916	△8.1	910	△31.3	1,005	△36.8	750	△30.8
2019年3月期第1四半期	41,276	9.4	1,325	13.5	1,591	20.2	1,085	16.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 460百万円(−%) 2019年3月期第1四半期 34百万円(△97.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	29.74	—
2019年3月期第1四半期	43.00	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	117,274	67,770	57.8
2019年3月期	121,170	67,916	56.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 67,770百万円 2019年3月期 67,916百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	87,000	△3.6	2,990	△7.4	3,220	△10.0	2,240	△7.7	88.75
通期	183,000	0.1	6,720	1.9	7,060	0.4	4,860	△0.9	192.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	26,025,242株	2019年3月期	26,025,242株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	787,123株	2019年3月期	786,985株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	25,238,171株	2019年3月期1Q	25,238,474株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、国内経済においても米中貿易摩擦の長期化に伴う影響が表れ始め、景気の減速感が高まってまいりました。

このような市況下で、半導体・液晶などの電子部品製造装置関連の設備投資が低迷する影響を受けて半導体デバイス事業の売上は減少し、主力のFAシステム事業においても設備投資減速の影響が出てまいりました。一方で施設事業においては製造業の工場の設備更新、省エネ関連投資、空調関連の好調により増収となりました。海外子会社は、米中貿易摩擦の影響を受けて売上が減少し、国内子会社においても情報系産業の設備投資手控えによる影響が出てまいりました。

しかしながら、このような状況下にあっても当社グループは2020年3月期から仕上げ段階に入った中長期経営計画「C. C. J 2 2 0 0」を仕上げるべく、A I ・ I o T時代のM 2 Mビジネスの展開に向けての人材確保など、先行投資を実行し続けております。

以上の背景から、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高379億16百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益9億10百万円（前年同期比31.3%減）、経常利益10億5百万円（前年同期比36.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億50百万円（前年同期比30.8%減）となりました。

セグメント別については以下のとおりであります。

#### 〔FAシステム事業〕

売上高:217億57百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益:7億34百万円（前年同期比15.6%減）

FAシステム事業は、FA機器分野で単体のインバーター、ACサーボ及び配電制御機器は堅調に推移しましたが、鉄鋼プラントの受注が減少し、国内子会社において情報系産業機器向けが大きく減少いたしました。産業機械分野についてもレーザー加工機及び製造ライン向け自動化設備は減少いたしました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比8.1%の減少となりました。

#### 〔半導体デバイス事業〕

売上高:114億99百万円（前年同期比17.1%減）、営業利益:2億1百万円（前年同期比62.6%減）

半導体デバイス事業は、米中貿易摩擦の影響から海外子会社、特に中国、香港が苦戦いたしました。また国内でも影響が出始め、半導体分野のマイコン、ロジックIC及びパワーモジュールなどが減少いたしました。電子デバイス分野の液晶パネルが堅調に推移いたしましたが、メモリーカードは大口径案件が減少いたしました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比17.1%の減少となりました。

#### 〔施設事業〕

売上高:34億45百万円（前年同期比24.9%増）、営業損失:29百万円（前年同期は76百万円の損失）

施設事業は、製造業における工場の設備更新や環境改善・省エネを目的とした設備増設需要が堅調に推移いたしました。

店舗用パッケージエアコン、ビル用マルチエアコンなどの空調機器が好調に推移するとともに、昇降機や発電設備が伸長いたしました。またエコキュート及び全社をあげて取り組んできたLED照明も好調に推移いたしました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比24.9%の増加となりました。

#### 〔その他〕

売上高:12億14百万円（前年同期比24.1%増）、営業利益:4百万円（前年同期は8百万円の損失）

MMS分野は部材加工品が大きく伸長し、中でも立体駐車場向け金属部材が好調に推移いたしました。EMS分野は、自動車関連向け電子機器製造受託の案件及びプラットホーム稼働柵の案件が堅調に推移いたしました。

その結果、その他事業全体の売上高は、前年同期比24.1%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、1,172億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億95百万円減少いたしました。

流動資産は、929億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億7百万円減少いたしました。

この主な要因は、現金及び預金の増加16億52百万円、受取手形及び売掛金の減少68億77百万円、たな卸資産の増加21億75百万円であります。

固定資産は、243億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億88百万円減少いたしました。この主な要因は、投資有価証券の減少3億円であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、495億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億50百万円減少いたしました。

流動負債は、473億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億4百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少24億85百万円、未払法人税等の減少9億39百万円であります。

固定負債は、21億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億46百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、677億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億45百万円減少いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加1億44百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億86百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,167	16,820
受取手形及び売掛金	65,682	58,805
有価証券	200	100
たな卸資産	13,373	15,549
その他	2,107	1,745
貸倒引当金	△61	△56
流動資産合計	96,470	92,963
固定資産		
有形固定資産	5,219	5,249
無形固定資産	258	281
投資その他の資産		
投資有価証券	18,178	17,877
その他	1,124	983
貸倒引当金	△80	△80
投資その他の資産合計	19,221	18,779
固定資産合計	24,699	24,310
資産合計	121,170	117,274
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,548	40,062
短期借入金	1,949	1,740
未払法人税等	1,317	378
賞与引当金	1,436	608
その他	3,621	4,578
流動負債合計	50,873	47,369
固定負債		
長期借入金	83	80
退職給付に係る負債	227	213
その他	2,070	1,840
固定負債合計	2,380	2,134
負債合計	53,253	49,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,999	6,999
利益剰余金	50,417	50,562
自己株式	△893	△893
株主資本合計	62,397	62,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,913	4,626
繰延ヘッジ損益	0	△10
為替換算調整勘定	215	237
退職給付に係る調整累計額	390	374
その他の包括利益累計額合計	5,519	5,229
純資産合計	67,916	67,770
負債純資産合計	121,170	117,274

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	41,276	37,916
売上原価	35,736	32,728
売上総利益	5,539	5,188
販売費及び一般管理費	4,214	4,277
営業利益	1,325	910
営業外収益		
受取利息	22	27
受取配当金	168	154
為替差益	95	—
その他	39	40
営業外収益合計	326	222
営業外費用		
支払利息	5	4
為替差損	—	69
売上割引	44	47
その他	10	6
営業外費用合計	59	127
経常利益	1,591	1,005
特別利益		
投資有価証券売却益	—	90
特別利益合計	—	90
税金等調整前四半期純利益	1,591	1,096
法人税等	488	345
四半期純利益	1,103	750
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,085	750

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,103	750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△777	△286
繰延ヘッジ損益	6	△10
為替換算調整勘定	△274	22
退職給付に係る調整額	△23	△15
その他の包括利益合計	△1,068	△290
四半期包括利益	34	460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17	460
非支配株主に係る四半期包括利益	17	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,665	13,873	2,758	40,297	978	41,276	—	41,276
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	23,665	13,873	2,758	40,297	978	41,276	—	41,276
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	871	539	△76	1,334	△8	1,325	—	1,325

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,757	11,499	3,445	36,702	1,214	37,916	—	37,916
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	21,757	11,499	3,445	36,702	1,214	37,916	—	37,916
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	734	201	△29	906	4	910	—	910

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。